

スタジオがら



早いもので今年も残すところあと1か月です！

今回は、来年で放送から10周年を迎えるみやこハーバーラジオの長寿コーナー『宮古文化研究所』を紹介します。

『宮古文化研究所』は宮古市の歴史や文化についてスタッフが掘り下げ、テーマごとの専門家や当事者の方にインタビューをして教えていただくコーナーです。毎月第2・第4火曜日の午後1時から放送しています。

今まで「宮古の年中行事としきたり」「郷土芸能保存会の活動」「宮古の方言」「宮古市出身の偉人」「宮古の生き物」「自然災害・戦争の体験談」「農林水産や鉱山など産業の歴史」「公共施設や交通の発展など街づくりの歴史」「老舗企業の沿革」と、多岐にわたるテーマをとりあげてきました。

取材出演に、ご協力くださった皆さん！

ありがとうございます。2025年は日本のラジオ放送開始100周年にちなんで、宮古とメディア、情報通信技術の移り変わりも特集しました。

これからのお問い合わせで調査してほしい宮古市の歴史文化、もう一度聴きたい内容、次世代に語り継ぎたい宮古の思い出などございましたら、ぜひおたよりをお寄せください。

●「みやこハーバーラジオ」放送中！

FMラジオ【82.6MHz】

●インターネットの「リスラジ(ListenRadio)」 (<http://listenradio.jp>)や「サイマルラジオ」 (<http://simulradio.info/>)でもお聴きいただけます。

スマートフォンでは、無料アプリ「リスラジ(ListenRadio)」をダウンロードし聴くことができます。

※川井地域は川井テレビ(11ch)で放送中



●X(旧Twitter)アカウント「@miyakofm」(右記二次元コード)



●Instagramアカウント「miyako_harbor_radio」(右記二次元コード)



●お便り・ファクス・メールお待ちしています

〒027-0076 宮古市栄町4番地 三陸鉄道本社1階
みやこハーバーラジオ宛て

FAX77-3936 ☎826@miyakofm.com

問 宮古エフエム放送(☎77-3399)

【特選】

冬銀河見つめ数式暗唱す

坂下健治

綿虫や日差しの縁を歩みけり

内藤賢一

評：絶妙な「飛ぶ」や「舞う」ではなく「日差しの縁を歩む」と表現したところが詩的で美しい。

俳句に親しむ

季題「冬銀河」「綿虫」

豊島喜美子 選

ごめんねと言えた向こうは冬銀河
反り返る夜行列車や冬銀河
羽風無く綿虫我を越えてゆき
綿虫や幼き日々を追いかけて
綿虫を手に受け見るや拡大鏡
綿虫や縛るものなく風にのる
音消して無念無想や冬銀河

【入選】

佐藤栄子 大森和子 北村克哉 駒井和子 島香良 佐藤栄子 佐藤栄子

【広告】

創業99周年

おかけさまで

リフォーム承ります

畳・襖・障子・網戸・クロス
カーペット・カーテン
クッションフロア・内装工事など

内装リフォーム

お気軽にお相談ください!お問い合わせは

0120-747-465

大森畳店

〒027-0061 岩手県宮古市西町三丁目2-4
<http://www.oomoritamatami.jp/>

広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について、市が推奨などをするものではありません。

◆次の季題「日記買ふ」「水鳥」※12月4日(木)消印有効

◆応募は一人3句までです。

◆いただいた句を添削することができます。

◆はがきまたは封書で、句のほかに住所、氏名(ふりがな)、電話番号を書いて、〒027-8501(住所不要)宮古市役所「広報みやこ」係へ応募してください。

◆今回の投稿者は23人でした。ありがとうございました。

[選者より]

○季語は一句につが基本です。傍題も可とします。

○小中高生の作品歓迎。

△選者詠「幼子の遺骨の帰郷冬銀河 喜美子」

俳句は作者を離れ読み手にゆだねられる不思議な文芸です。

ふるさと博物館

地域の魅力再発見！地域の宝マップ作成・津軽石区域編

「津輕石・藤畠駒形神社」

市教育委員會文化課 編

津軽石小学校から南に約300m、小高い丘の上に藤畠
駒形神社があります。この神社の由来として、鎌倉時代
初期の豪族「閉伊頼基」の妻であった「音羽御前」の愛
馬が死んだのが藤畠の地であったとされ、その後に音羽
御前が愛馬の亡骸を埋め、馬頭観音堂を造って供養した
という伝承が残されています。この神社の所在する藤畠
から豊間根にかけての一帯は閉伊氏一族の重要な馬産地
であり、駒形神社はその鎮守（守り神）であった可能性
があります。境内の中には、日露戦争時の馬魂碑（軍馬の
供養碑）が祀られており、馬産地「藤畠」で育てた軍馬が
戦地へと送られていたことが分かります。また、今から
50年ほど前までは藤畠の地でも牛馬を飼育し、農耕や物
資の運搬などで活躍していました。

旧暦の4月20日には祭礼が行われ、最近まで拝殿の中へ馬が入って参拝していました。今でも祭日には市内だけではなく遠野から参拝に訪れる人がいるなど、地元の

人や牛馬の関係者からも親しまれている神社です。お堂の中には「塩の道」を行く牛を描いた額絵^{がくえい}が奉納されており、古くから人々と生活を共にした牛馬への感謝と、牛馬と共に生きた先人の営みが伝わってきます。



藤畠駒形神社



日露戦争の馬魂碑

宮古市教育委員会が策定した「文化財保存活用地域計画」では、未指定の文化財も含めた「地域の宝」を活用し、後世に伝え残すため、文化財保存活用区域を設定し「宝マップ」にまとめます。今回は9つある区域の中から「津軽石区域」について紹介します。

市長のひとり言

私の普通は、あなたの普通ではありません。昔の当きり前は、今の当きり前ではありません。

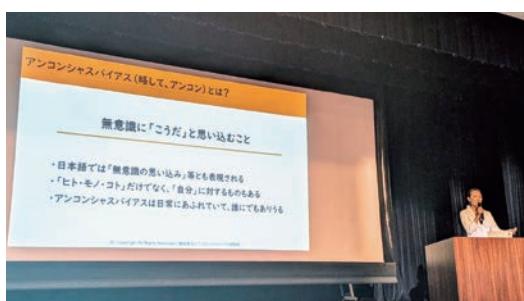
たり前は、今の当たり前ではありません。

例えば「家事は女性がするもの」。無意識に抱いてしまう決めつけや思い込み、これが「アンコンシャス・バイアス」です。

私たちは日々の生活の中で、性別、年齢、国籍、職業、慣習など、さまざまな属性に基づいて人を判断してしまうがちです。「普通は○○だ」「男性は○○だ」「外国人は○○だ」などという考えは、自分や他者の可能性を狭めたり、誰かを傷つけてしまったりする恐れがあります。

対処法は、「頭ごなしに決めつけないと」と相手にとってどうなのか?を確認すること」。良かれと思つて言つたこと、したことが、相手を傷つけてしまつたら、どちらも幸せではありません。

失敗はあるけど、見直せます。



講師を務めた（一社）アンコンシャスバイアス研究所
太田博子理事

[広告]

住まいのことなら何でもお任せください



【広告】広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について、市が推奨などをするものではありません。

[广告]

広報みやこでは、掲載を希望する広告を随時募集中です。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

■規格 縦45ミリ×横81ミリ

問 市企画課広報係（市役所4階、☎68-9065）

